

# R6 年度 学校生活のきまりと心得

	きまりと心得
授業	(1) 授業に遅れないようにする。遅れた場合には先生に理由を報告する。 (2) 教科書、その他授業に必要なものを忘れたら先生に報告する。 (3) 授業開始の号令では「年、組、欠席者名、現在数」を明確にする。
休み時間	(1) 原則として、学校内は右側を静かに歩く。 (2) 授業開始 5 分前には次の学習の準備と移動教室を開始する。
生活一般	(1) 学校生活に必要なものは持って来ない。 (2) 学校へ必要以外のお金は持って来ない。必要があつて持って来た時には、朝のうちに担任の先生に預ける。 (3) 職員室、研究室などに入る時にはノックをしてから入室し、年・組・氏名・誰に用事があるのかを言ってから中へ進む。防寒着・防寒具等は脱ぐことが望ましい。 (4) 登校した後、下校時まで校地外には出ない。特別の場合には先生の許可を受ける。 (5) 放送のある場合には、静かに聴く。 (6) 上下履きの区別をつける。 (7) 名札は正しく胸につけておく。 (8) 持ち物、はきもの、衣服には学年、組、氏名を明記する。 (9) 非常時や清掃時以外は非常階段へ入らない。 (10) 活動に関係の無い特別教室や他の学級の教室へは入らない。 (11) 自分の荷物の管理をきちんと行い、運動着や制服、水着、部活の用具等は学校へ置いて帰らない。
申告	(1) 学校敷地内にある物やタブレット PC 等を破損した時は直ちに先生に申し出る。
かばん・上履き・服装のきまり	(1) かばん ○学校指定の背負いカバンを使用する。両肩にかけて背負うこと。 (2) 上履き ○指定の運動靴を使用し、かかとにクラスと氏名を記入する。靴のかかとを踏まない。 (3) 服装（学校は公の場である。） ①校内生活については、中学校指定制服を着用し、健康・快適に学校生活を送れるように服装を整える。 ・制服：ブレザー スラックス・スカート ネクタイ・リボン カッターシャツ（白） 靴下（華美でないもの） ポロシャツ（紺）【夏季】 ・夏季ジャージ生活：猛暑時に生活委員会が判断し、運動着（半袖）での学校生活を認める。 ・極寒時に制服で寒暖対策がこと足りない場合は、カーディガンやインナーで対応する。 教室での活動の際は、原則としてブレザーの上に防寒着を着用しない。 ②運動時や作業時などは、運動着を着用する。 ・中学校指定運動着上下 半袖 T シャツ（紺・白） ハーフパンツ ・T シャツは、ワンポイントのものに限り代用可。 ③儀式における服装・入学式、卒業式など儀式においては、式に臨むにふさわしい服装とする。

登下校	<p>(1) 8時15分に学活が行えるように登校する。</p> <p>(2) 下校時刻をきちんと守る。完全下校時は、校舎の外へ出る。</p> <p>(3) 決められた通学路を通り、登下校途中に店や友人宅に立ち寄らない。</p> <p>(4) 登下校も学校生活の一環であるので、服装について安全・健康に留意する。</p> <p>(5) 体力向上の観点から、特別な場合を除き自力（お家の方に送迎してもらわない）通学を原則とする。</p>
交通	<p>(1) 交通規則、交通道徳を守り、正しい通学をする。</p> <p>(2) 各自一定の通学路を通り、まわり道をしない。</p> <p>(3) 歩道、路側帯のある所は必ずそこを通る。</p> <p>(4) 歩道のない所は右側を必ず1列で歩く。</p>
自転車使用	<p>(1) 自転車保険へ必ず加入する。</p> <p>(2) 年間通学は原則として2km以上の者とする。身体状況で自転車通学を希望する者は臨時の許可を得る。</p> <p>(3) 部活動や千曲坂城クラブ等で自転車を利用する場合は、指定の駐輪場へ停める。</p> <p>(4) 自転車に乗る時にはヘルメットを着用し、日没後はライトをつける。</p> <p>(5) 自転車は所定の置き場にきちんと置き、鍵をかけておく。放置しない。</p> <p>(6) 2人乗りはしない。並走しない。</p> <p>(7) 雨の日は、カッパを着用する。</p> <p>(8) 自転車には指定のステッカーを貼る。</p> <p>(9) 降雪時は特に危険なので、自転車利用は禁止する。</p>
※校外生活	<p>・校外生活については、生命尊重やきまり・モラル等を意識して、お家の方の責任の下で生活する。</p> <p>・インターネットやSNS等は、お家の方と約束を作り、お家の方の責任の下で利用する。</p> <p>※ 校外生活とは、学校の活動以外の生活を指す。</p>

「きまり」や「心得」は

何のためにあるのだろうか？